

適合性評価SWGの紹介

(AI・Digital分野における適合性評価の在り方)

適合性評価SWG

AIセーフティ・インスティテュート

高村博紀

2025年10月2日

AISI事業実証WG 上期報告会

AISI Japan
AI Safety Institute



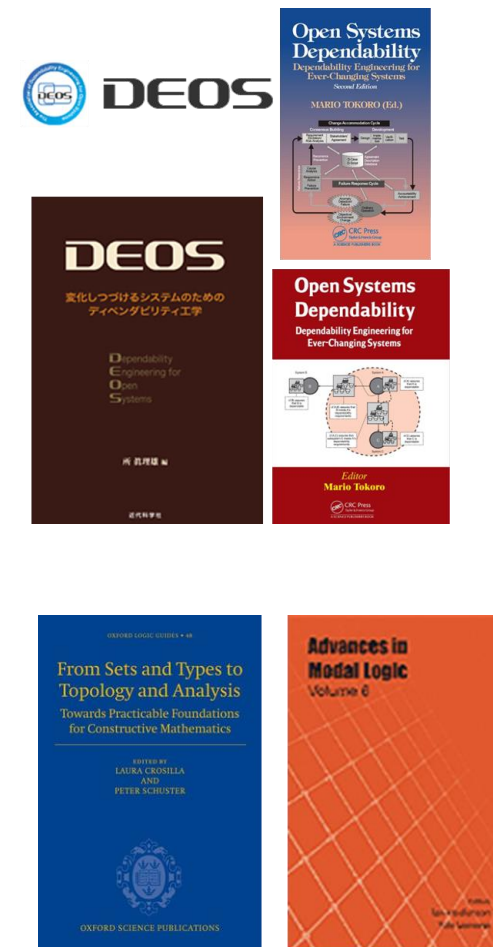
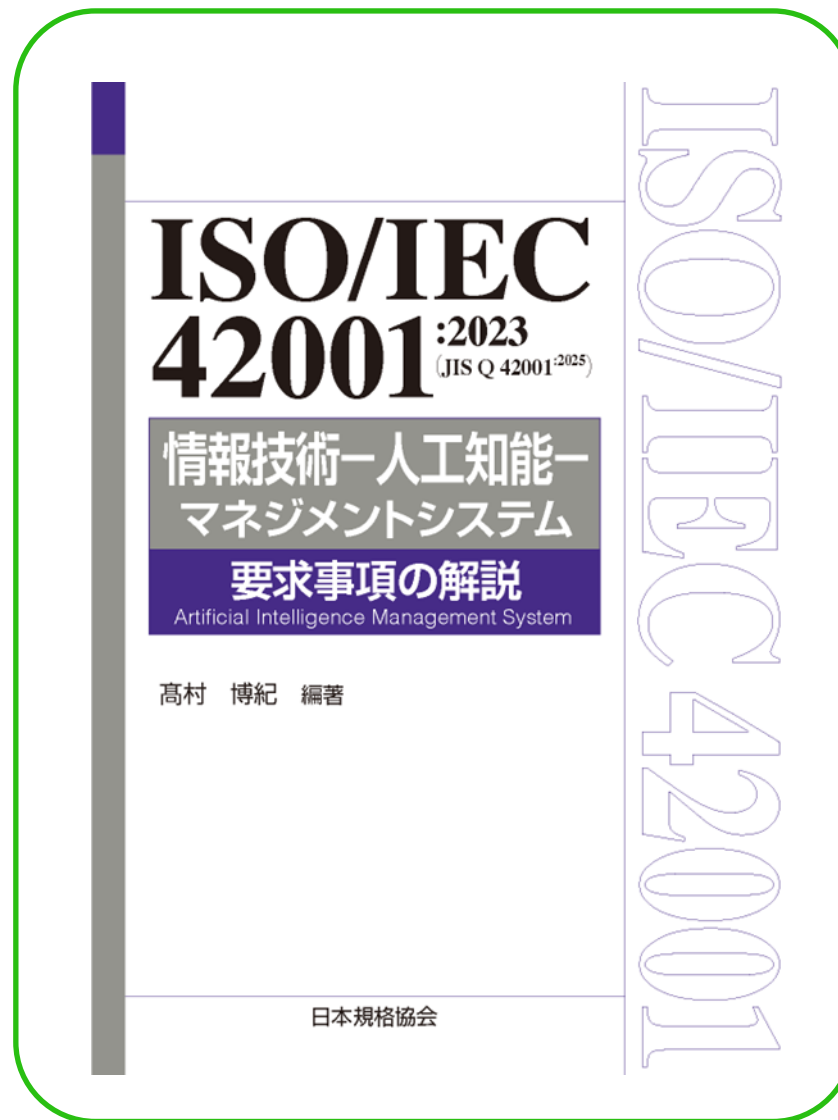
AIセーフティインスティテュート 標準チーム

高村 博紀

Takamura Hiroki

産総研 特別研究員、科学技術振興機構 研究員、
株式会社アトリエ エキスパートエンジニアを経て、
2017年より日本品質保証機構、2024年よりAISII
(IPA DICS AIシステムグループ) に出向中

ISO/IEC JTC1 SC42、IEC TC56など標準化活動に従事
博士（情報科学）

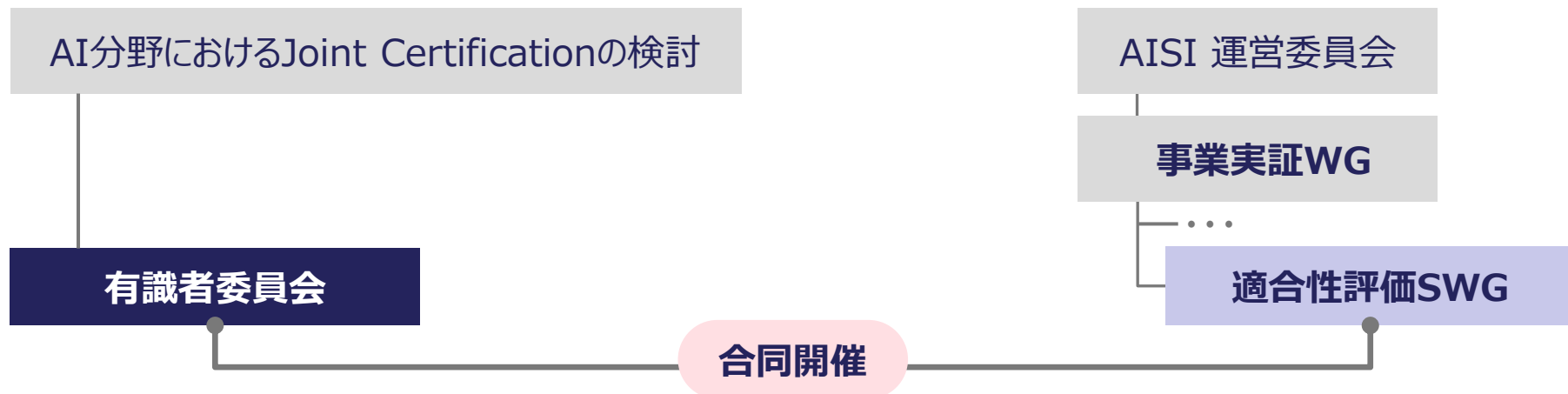


適合性評価を実施する機関に対して、評価枠組みとなる規格開発や認定を実施している機関の専門家からなる有識者委員会を設置

- ◆ 本SWGは、他のSWGと連動する（一歩引いた、遅れた、俯瞰した）形で進める計画です
- ◆ AI分野における適合性評価の在り方について、関係機関の専門家と意見交換、討議をし進めます
 - 今年度は、認定機関、適合性評価に関する国際規格を開発している機関、専門家からなる有識者委員会を組成し、AI分野における適合性評価の在り方を検討します
 - 来年度からは、適合性評価機関（認証機関、試験機関）や受審組織へと拡大して、各方面が良しとなるような適合性評価制度（案）の策定を目指します

研究開発とSociety5.0との橋渡しプログラム（BRIDGE）

AIセーフティ・インスティテュート（AISI）



公益財団法人日本適合性認定協会（JAB）
一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター（ISMS-AC）
一般財団法人日本規格協会（JSA）
独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）認定センター
一般財団法人 日本品質保証機構（JQA）：CASCO国内委員長
国立研究開発法人産業技術総合研究所：SC42国内委員長他

サービス形態や運用体制とともに動的に変化し続ける中、従来の静的かつ一括的な適合性評価の枠組みでは対応が困難となりつつあるのではないか？

- ◆ ISO CASCOにおいてISO/IEC 17067改定中
- ◆ AI マネジメントシステムの国際標準 ISO/IEC 42001 が発行
- ◆ JIS Q 42001が8月に公示
- ◆ AI システムに対する適合性評価に関する国際標準としては、ハイレベルなフレームワークを規定するものではあるが、ISO/IEC 42007 の開発がISO/IEC 17067の改定と連動する形で開始

適合性評価スキームの見直し、組合せなど柔軟な枠組みが必要なのか？

既存の適合性評価スキームの調査を開始
検討を具体的にするためのユースケースの検討

- ◆ SC42にて開発（中）の国際規格で、適合性評価の基準として活用できるものを精査
- ◆ SC42にて規格開発中のHuman－Machine Teamingを評価しようとした場合、既存の適合性評価スキームで十分か検討開始

他SWGへのヒアリング

国内外の適合性評価に関連した取組みの調査

- ◆ 既存の適合性評価手法の整理と分析
- ◆ 国際標準化を踏まえてAIセーフティにおける適合性評価制度の設計
- ◆ AIセーフティの適合性評価制度の実効性の検証 等

AISI

Japan AI Safety Institute